

今春から **全国**の



小3まで35人学級実現

みんなの力で動かししました

【教育実践アドバイス】

初めての授業参観日

参観日のポイント

- ①たくさんの子どもが活躍する授業にしましょう。保護者の方々は我が子の活躍を見に来ています。
- ②そのために、いろいろな学習活動を入れましょう。読む・書く・発表する・話し合う・聞くなど。子どもがどこかの場面で活躍できるように。
- ③板書計画を立てておきましょう。保護者の方々は自分の子どもを見つけたら、次に黒板を見ます。
- ④その他 トイレ・忘れ物の確認。ティッシュや雑巾も用意しておく。机間指導を計画に入れておく。



「義務標準法・一部改正法」により、25年度までに全国の小学校が35人学級となります。21年度までに24府県6政令市で小中学校全学年で少人数学級を独自に実施しました。自治体独自の少人数学級は、今まで少人数指導やT・T等の加配を担任にあててやるり方

です。すめられています。それが、『法改正』により、加配を活用しなくても35人学級を実施することができ。これにより、自治体は安定的に教員配置を行うことができ、子どもたちにとっても落ち着いた学習環境となります。

4月から全国の小学校3年生の「35人学級」が始まりました。これは、33年間で4億7千万筆を超える『教育全国署名』をはじめとする父母・保護者や教職員、地域のみなさんの成果です。さらに少人数学級を前進させ、より良い教育条件を実現しましょう。

いつまで、そのまま『40人超』学級、学年中学校や高校

一方、小学校4年生以上は現在行われている「年次進行」の少人数学級計画から取り残されています。

中学校、高校に至っては計画さえありません。

さらに、少人数どころか『40人超』学級もそのままにされています。一刻も早く解消する課題です。

国は来年度の「学力・学習状況調査」を中止し、その費用をこれらの教育条件改善に活用することが求められているのではないのでしょうか。

【喜びの声】

新年度が始まり、教室準備の時から、机の列が縦横に昨年度より一列ずつ少なくなりました。

始業式、子どもたちが登校し、連絡帳を書く時も誰がまだ書いていないか見渡して、すぐにわかり待ってあげられるし、提出された連絡帳の点検も早く終わりました。

きっとこれから始まる授業でも、一人ひとりをていねいに見ることができるようにはなっていくかと思っています。

大阪・小学校 金城登芸子

希望ふくらむ新学期なのに 週に2回も『テスト』実施

大阪府の小学校6年生



新学期が始まりました。教室の子どもたちはどうですか。新学期って不思議ですね。本当に『みんな』が前向きに物事に取り組んでいます。

そんな時なのに、大阪府の小学校6年生は1週間に

2回のテストをしました。1つは「全国学力・学習状況調査」、もう1つは「すくすくテスト」です。

19日に「学調」、21日に「すくすく」。中には19日に2つのテストを実施した小学校もありました。

